

大槌町教育委員会だより



# 育てよう魅力の花

秋は読書やスポーツの季節です。今月は児童生徒の活躍についてお知らせします。

## 令和2年度「第52回釜石・大槌地区読書感想文コンクール」表彰式

令和2年度の釜石・大槌地区読書感想文コンクールが開催され、町内の入賞者が以下のとおり決定しました。

### 最優秀賞

- 《小学校》 吉里吉里学園 1年 倉本 来稀 「おれ、りょうしになる」
- 《中学校》 大槌学園 8年 倉本 愛花 「真実を見つめる人間に」

### 優秀賞

- 《中学校》 大槌学園 7年 岩間 凜子 「みずきのように勇敢になるために」
- 大槌学園 8年 菊池 康介 「現代社会と『論語と算盤』」

### 優良賞

- 《小学校》 大槌学園 2年 東梅 実優 「にしやんといがらしくん」
- 大槌学園 3年 藤井 咲希 「リサイクルの大切さ」
- 大槌学園 4年 菅原 なつほ 「ポリぶくろ、一まい、すてた」を読んで
- 大槌学園 4年 山崎 滉仁 「友だちの気持ち」
- 吉里吉里学園 5年 倉本 麗 「命に向き合うということ」
- 大槌学園 5年 木村 百花 「家族の絆は一生消えない」
- 《中学校》 大槌学園 7年 中嶋 春翔 「善意の輪」
- 大槌学園 9年 川端 洸翔 「裸でも生きる」

どの作品も感動あふれる内容で、あらためて考えさせられたこともたくさんありました。これからの人間としての生き方や友だちを大切に生きていく決意、命の大切さなど、読書を行ったことによって皆さんのことを感じとったということが伝わってくる作品でした。入賞された皆さんおめでとうございます。

## 令和2年度「釜石大槌地区中学校 新人大会」結果

令和2年度「釜石・大槌地区中学校 新人大会」が9月12日（土）・13日（日）に開催されました。見事県大会に出場となった皆さんについて結果をお知らせします。

種 目	チー ム・選 手	成 績	
野 球	大槌学園・吉里吉里学園合同チーム	優 勝	
サ ッ カ ー	大槌学園	優 勝	
バスケットボール女子	大槌学園	優 勝	
バレーボール男子	釜石・吉里吉里学園合同チーム	優 勝	
バドミントン男子	団体	大槌学園	2 位
	個人	菊池 康介 (大槌学園)	優 勝
		前川 開耶 (大槌学園)	2 位
卓 球 男 子	個人	佐野 道太郎 (吉里吉里学園)	優 勝
卓 球 女 子	個人	鈴木 千明 (大槌学園)	優 勝

## 大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民のみなさまにお伝えします！



大槌高校  
ホームページでも  
行事の様子を  
発信しています！

## オンラインで広がる「新しい学び」

大槌高校では、昨年度タブレット端末を24台整備し、様々なオンラインツールを活用して行う授業や行事が増えてきました。オンラインによって、生徒一人ひとりのレベルにあった学習が実現可能になり、また教室にいながら全国各地や世界の人と繋がって一緒に学び合うことができます。今月は、オンラインツールやタブレット端末を使って取り組む新しい学びを紹介します。



### 授 業 で

### AI 学習教材を活用した数学やオンラインでの英会話授業



数学の授業では、AI 学習教材を活用して、一人ひとりに適した学習進度で学びます。各自のレベルにあった問題を解きながら単元を進めていき、必要があれば単元を戻って復習することができます。ドリルのように自分で進めていくアプリでの学習は生徒にとっても楽しいようで、意欲的に問題に取り組んでいる様子が見られました。

また、英語の授業ではオンライン英会話サービスを活用し、ビデオ通話で外国人ネイティブスピーカーとの英会話に挑戦しています。事前に分からない英単語を調べ、スムーズにコミュニケーションが取れるよう準備して臨んでいる生徒もいました。

### 探究活動で

### 山形県・熊本県の高校生たちと「マイプロジェクト」発表



2 学年では、山形県立小国高校・熊本県立小国高校の2年生と3県合同での探究学習に取り組んでいます。小規模の県立高校がオンラインで繋がり、一緒に授業を進めていくことは全国でも珍しい取り組みです。9月に行われた1回目の交流では、最初は緊張しつつも自己紹介やアイスブレイクをすることで盛り上がり、オンライン上でも遠く離れた高校生と仲を深めることができました。12月には、3校の生徒間でそれぞれが取り組む「マイプロジェクト」を共有し、お互いの活動から学びを得る機会を設けます。

### 他校交流で

### 東京や九州の高校生たちとオンラインで交流



震災後から大槌高校には全国から高校生や大学生が訪れ、継続的に交流が行われています。しかし、今年はコロナウイルスの影響で遠方から大槌町を訪れることが難しい状況となりました。それでも、大槌との交流を続けていきたいという声をいただき、ビデオ通話アプリを使ったオンラインでの交流や震災伝承活動をスタートさせました。今年度は、東京白百合学園や北九州市立高校、明治学園中学・高等学校、神戸大学の学生と交流を行いました。